

ヤドリ浜 ECO ウォッチング M A P

海と森に囲まれたヤドリ浜は季節ごとにたくさんの動植物が見られる場所です。
見て聞いて匂って、亜熱帯に息づく生き物たちをウォッチしてみてください。



オーストンオオアカゲラ



リュウキュウスアカアオバト



ルリカケス



スズメダイの仲間



チョウチョウオの仲間



オニダルマオコゼ



クマノミの仲間



ハマコウ



オオハマボウ



グラジオラス



ノボタン



スミナガシ



ウケユリ



テッポウユリ



アカボシゴマダラ



アカショウビン



グンバイヒルガオ



アダン



ゲットウ



ツマベニチョウ





●オーストンオオアカゲラ

奄美大島の老木のある原生林に生息。
キツツキの仲間。木の幹に穴をあけて巣を作る。
オスは頭頂部が赤く、メスは黒い。国指定天然記念物。



●モンバの木

町指定保護樹木（奄美最大）。陸よりの
隆起サンゴ礁上や砂浜などに生える低木。
夏に白い花をつける。宝島や奄美、沖縄の他
東南アジア、アフリカなどに分布する
熱帯性広域種。



●ゲットウ

方言はサナン。葉は質厚く光沢と芳香にすぐれ、
殺菌作用もある。餅を包んだり、料理の下に敷く
などに利用される。乳房のようなつぼみから
色鮮やかな花が咲く。6～8月。



●リュウキュウズアカアオバト

台湾に生息するズアカアオバトの亜種。
奄美群島から沖縄諸島の森に住み、繁殖する。
プーボーオとの悲しげな声で鳴く。



●オオハマボウ

亜熱帯から熱帯にかけて海辺近くに好んで生え、
方言でユーナ、ユナギなどと呼ばれる。近縁種の
ハマボウより葉が大きい。ハイビスカスの仲間。
6～10月。



●テッポウユリ

純白の花を咲かせ、大変良い香りを放つ。
野生種だが、年々減ってきている。4～5月。



●ルリカケス

鹿児島県の県鳥で、国の天然記念物。
奄美大島、加計呂麻島、請島に生息。
雌雄同色で頭から胸にかけての瑠璃色が美しい。
警戒時には美しい姿に似合わず「ギャーギャー」と鳴く。



●グンバイヒルガオ

名は重配の形に似た葉から。奄美以南の亜熱帯海浜植物で、
しばしば大きな群落を作る。種子は堅く、浮くので潮流に
のって拡がる。5～11月。



●ウケユリ

奄美固有種で、請島、与路島、宇検村などの深山に
稀に自生する。透き通るような美しい大きな花を
1～数個つける。香りは特に良い。



●リュウキュウアカショウビン

4月の終わり頃から姿を見せはじめる。
「キョロロロ～」と大きな涼やかな声で鳴く。
ルビー色の大きなくちばしが特徴。



●アダン

風当たりの強い水分の少ない海岸に生育する
ため、気根（支柱根）がタコの足のよう
に発達し、大小の群落をつくる。花と熟した実は
独特の芳香を放ち、かつて実は子供達のおやつ
だった。孤高の画家・田中一村も愛した奄美の
代表的な海岸植物。



●ノボタン

日当たりの良い山の斜面に薄紫の花を咲かせる。
花の命は1～2日。奄美が北限の植物。



●オニダルマオコゼ

顔だけ出して砂に潜っていることがある。
うっかり踏むと、ヒシの棘で刺される。
毒があるので注意が必要。



●チョウチョウオの仲間

平たい体型とおちよほ口が特徴。
いつもベアで仲良く泳いでいる。



●ハマユウ

ヒガンバナ科の海岸性の多年草。
夏の夜に開花する白い花は強い芳香を
出す。4～6月。



●クマノミの仲間

イソギンチャクとの共生で有名な魚。
奄美には5種類が住んでいる。



●スズメダイの仲間

枝サンゴを住処にし、群をなしているきれいな小魚。
近寄るとサッと隠れてしまう。



●グラジオラス

十二段花・段々花と呼ばれる。
山林の縁に赤い花を咲かせる。
5月。



●ツマベニチョウ

国内のシロチョウでは最大で、鮮やかな白地に
オレンジ色の羽模様特徴。フウチョウソウ科の
ギョボクを食べる。深紅のハイビスカスに群れる
様子は南国そのもの。



●アカボシゴマダラ

奄美大島を代表する蝶。タテハチョウの仲間、
リュウキュウエノキを食樹とし、成虫は樹液や
腐果などに集まり、時に地面や河原に下りて
水を吸う。食樹の関係から割合に集落近くで
見られる。



●スミナガシ

奄美では3月下旬には飛び始める。
食草のナンバンアワブキ、ヤマビワなどの
ある樹林周辺や溪流沿いでよく見られる。